救急車は何台くらい受け入れているの？

たくさんの救急車を受け入れている！

この病院がつくられたのは、「医師が足りず、救急車を呼んだ人が遠い病院まで行かなければならない」という、この地域の問題を解決するためでもあります。
一日約16～17台、年間6,300台以上もの救急車が、患者さんを運んできます。



済生会新潟県央基幹病院専用の救急車



救急車で運ばれてくる人の入口



救急車の中は、いろんな機械でいっぱい

ヘリポートもあるって本当？

ドクターヘリが患者さんを運んでくることもある！

屋上にドクターヘリが着陸できるヘリポートがあります。
ドクターヘリの最高時速は260㌔で新幹線と同じくらい。
患者さんが病院から遠い場所にいても、空を飛んで早く病院に運べます。
県内には新潟市と長岡市に1基ずつあり、2基で協力して患者さんを運んでいます。





ドクターヘリが着陸する動画も見せてもらいました



「KENOH KIKAN HOSPITAL」と書かれている

病院長の岩渕 洋一先生にもインタビューしました



Q. 何のお医者さんですか？
腎臓の専門医です。

Q. 仕事は大変ですか？
病気やけがが治って、患者さんが喜んでくれるので、大変だと思うことはありません。

Q. 健康に過ごすために大切なことは？
やりたいことを我慢しないことも大切。でも、自分の体のことを考えて、無理をしないことも大切です。

Q. 好きな食べ物はなんですか？
炭水化物。でも、なんでも食べます。



Q. いつからお医者さんになりたいと思っていましたか？
保育園の頃から。
お医者さんに病気を治してもらったことがきっかけです。

Q. どうしたらお医者さんになれますか？
覚悟を決めて、やる気にまかせない。
どんな職業でも、「絶対になってやる」という気持ちを持って、勉強も「やる気があるときは動いて、ないときはやらない」ではなく、立てた計画を必ずやることが大事です。

Q. この病院のこれからの目標は？
県央地域の人に、さらに信頼される病院になることです。

♥ 小学生へのメッセージをお願いします。
人生は長いようで短いです。
やりたいことはどんどんやった方がよいと思います。